

## 2. 事業の継続に係る業務改善に向けて必要な取り組みについて

### ① 普段から課題だと感じていること

- ・コミュニケーションがとれておらず、社内で情報が行き渡らない。
- ・社風を理解した仕組みづくり・ルール作成がなされていない。  
(経営者側から降ろされたルール・仕組みと社員側の意識とのミスマッチ)
- ・全社一丸での体制づくりをするうえで、社員のベクトルを合わせるのが困難。
- ・社員が共に育つ環境づくり。
- ・幹部社員(次世代の中心)の育成が進んでいない。
- ・経営管理者(いわゆる番頭)の確保・育成が進んでいない。
- ・人材教育や業界全体のイメージ向上、PR。
- ・古いことに固執せず、新しいことをしていくという社員の意識改革。
- ・会社としての魅力を伝える前に人材が離れてしまう。
- ・大規模な会社がつくったルール・サービスに合わせざるを得ない状況があり、人材が不足している。
- ・設備の老朽化に伴い新規設備投資費用が生じる中、必要なものの選択が難しい。
- ・会社が何を得意としているのか、何を柱としていくべきなのかという事業の絞り込みをどのようにしていくかの判断が難しい。
- ・環境の変化に対応し、どのように経営を変化させていくか。
- ・地域資源とのつながりがあるか。
- ・代替わりによって、金融機関の対応に差が出てきてしまう。
- ・事業承継に関する専門家がない。(金融機関含め)

### ② 解決のために企業がすべきこと

- ・できないと思っている事や今までやったことのない方法で取り組んでいく。
- ・現状を認識し、顧客のニーズや変化を把握する。
- ・自社の顧客・商品・サービスが今のままで良いかを絶えず問いかける。
- ・新しいことに常にチャレンジする。
- ・危機的な意識を持ったうえで人材の革新を図る。
- ・他業種との交流により成功事例を学び、常に最新の情報を入手することで業務の革新につなげていく。
- ・隙間(ニッチ)の部分を考えて販路の拡大につなげていく。
- ・繁忙期等に多数の業務が重なっても全てこなすことができるように、適切な業務配分や管理を行う。
- ・自社にしかできないこと、得意な部分を伸ばしていく。
- ・スタッフ個々のレベルアップを図っていくことで会社の変化へとつなげていく。

### ③解決のために行政・関係機関がすべきこと

- ・新しいものへの支援だけでなく、今あるもの（昔からの建物を守っていくことなど）への支援が欲しい。
- ・市内外含めた企業の成功事例を集めアーカイブ化し情報提供することや、異業種等との交流の場を設ける。行政が具体的にサポートするというよりは、企業が能動的に取り組むうえでのサポートが必要では。
- ・行政の施策をそもそも知らず、相談となると敷居も高いので改善してほしい。
- ・第二創業に繋がるマッチング（人材等含め）の機会を提供してほしい。
- ・中央資本との競争になるため金融面での支援を充実させてほしい。
- ・地域内での経済循環のためにも地元企業への優先発注を更に進めてほしい。
- ・事業継承についての専門家が入ったチームによるサポート。
- ・売上げ、ブランドをブラッシュアップさせるためのサポート。
- ・自社サービスを展開していくうえでの判断材料となる情報・データが欲しい。
- ・自社商品・サービスの方向性などのマネジメントに関する部分の支援。
- ・支援機関・相談員そのものの質の向上。